

29歳で処女の男知らずミュージシャンの女性 だけどパイパ
ンであそこはバイブレーターで・・・あきらめかけた日、ガタ
イの良い兄ちゃんと知り合っってホテルへ直行

自宅に設けた小さな録音レッススタジオでユイナはピアノを弾く指を止め
た。

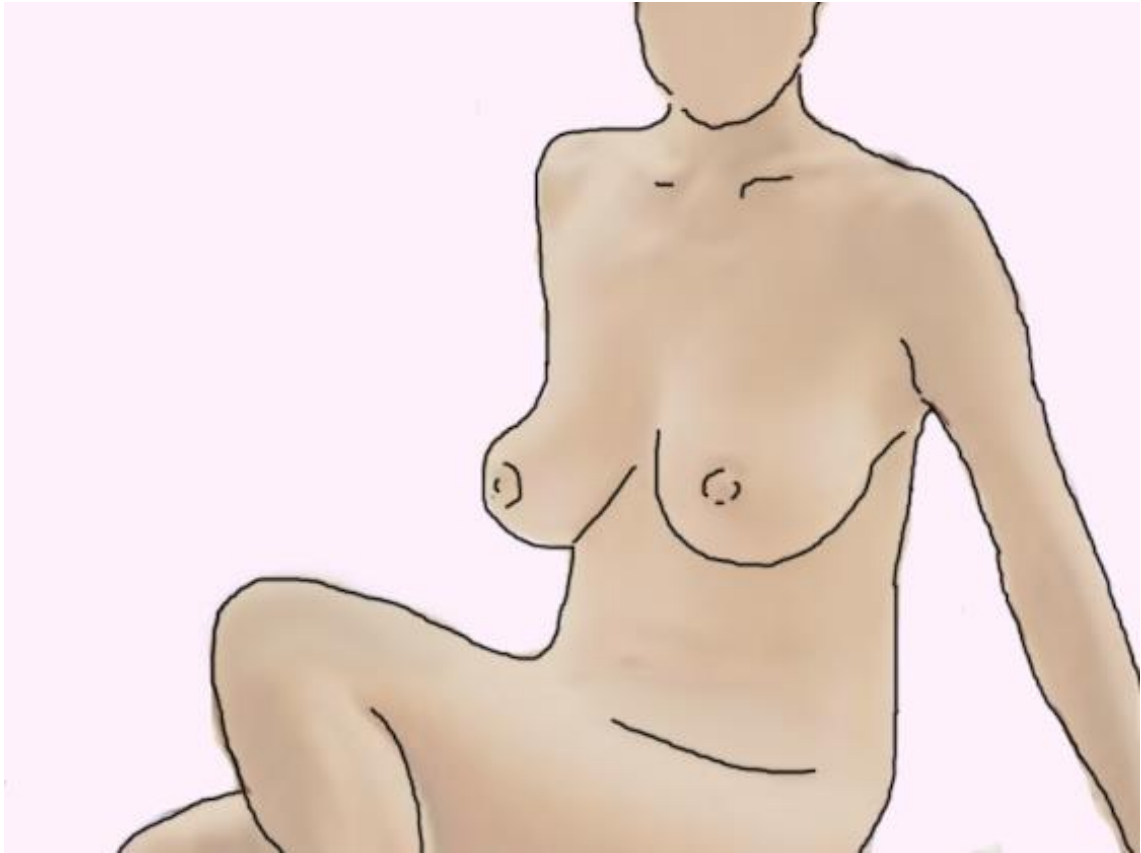
そして背筋を伸ばし小さくため息をつく。

「はぁ・・・」

肩で丈がストップしたベージュのキャミソールからニュッと出た二の腕は妙
に肉感的である。

ユイナは友達に影響されてあそこの毛を全て脱毛している。

永久脱毛も考えたのだが、今はまだ毎朝シェーバーで無毛にする、という現
状だ。胸は大きめで、乳輪は友達にからかわれるほどに薄い限りなく白に近い
ピンクである。



音楽の腕はかなりのもの。幼少の頃よりレッスンを続け自作曲も作る。現在は全国各地で色々なイベントにも呼ばれ歌いファンも多い。

更には幼少の頃よりの付き添いの講師にさらに上を目指せと発破をかけられている。

しかし一方で悩みもあった。最も大きい悩みは男性経験。過去に付き合った

唯一の恋人はユイナの心の壁を察知してか、はたまた彼自身が奥手で内向的すぎたのか・・・一年以上付き合ったにも関わらず結局は大人の愛を育むには至らずじまい。ユイナはもう年齢も29。周囲には派手に遊んでいる音楽仲間も多い。もとより音楽は派手な業界である。人気が出て順調である仕事と恋愛の矛盾。

ユイナはあふれ出る性欲をスマホのポルノサイトで自慰をして解消する日々であった。

若い男女が一心不乱に腰を振っている映像。

いつか自分もあんな風に全てを解放してみたい・・・。その一心だった。

お尻を突き出してお尻の穴に目いっぱい元気に反り立った愛する彼のペニスを入れてほしい・・・。

パイパンとパイチン同士でお尻を舐め合いたい・・・。

先日、知り合いの紹介で一人の心理学者の方の講演を聞き、自分には厳格なしつけの親の虐待傾向があるのかという思考に偏る。もしかしたら内気すぎた

と責めていた彼のせいではなく自分から壁を作っていたのではないかと。

いろいろな考え方があるにせよ……。固く育てられすぎたせいじゃ？

自分は男のもの……。つまりペニスを触ったことすらない。彼とはキスすらしていない。自分の家庭に問題があったのかと疑ったりもした。

だけどこのことも知っているのだ。

「みんな何かしら抱えているしなあ……」

時代は先日から未曾有の感染パンデミックが発生したばかり。

みんな言葉に言い表せないほど大変でそれどころではない。自分の悩みがちっぽけに思える。

————— 体験版は以上になります。—————